

■スペイン：発電大手のアベンゴア、資産保護の手続きを開始

2015年11月26日付報道によると、スペインの再生可能エネルギー発電会社のアベンゴア社は同月25日、債権者（スペイン大手銀行サンタンデル等200機関）から資産を保護する手続きを開始した。同社は、スペインの固定価格買取制度によって太陽熱発電を中心に急成長し、2010年頃には日揮や伊藤忠商事と提携しスペインで太陽熱発電を行っていた。しかし、同国で買取価格引下げが過去に遡って実施される等、買取制度が大幅に変更されたため、同社は経営不振に陥った。このため、世界最大手のスペイン自動車プレス部品メーカーで太陽光発電も手掛けるゲスタンプ社と協議を続けてきたが、交渉は決裂に至った。同社は破産法第5条の2の適用を受けて、債権者に対する支払を4カ月間凍結し、債権者と債務再建を協議する。2015年第三四半期時点で、同社の時価総額は3億ユーロにまで下がり、負債総額は89億ユーロに上る。従業員数は24,000人（うちスペインに7,000人）である。